



シルバー通信

第48号（平成30年度）

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先（事務所）：〒540-0024

大阪府中央区南新町 1-3-11 高分子工学ビル 303

FAX：06-6941-6568

ホームページ URL <http://renkyo.sakura.ne.jp/>

就任2年目のあいさつ

大阪府SA連協 理事長 新鞍 清彦（大阪市SA 平成22年）

4月に就任2年目の新鞍です。微力ながら大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会（以下、府SA連協と表現）の発展に努める所存ですので、皆様方のご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。今年度の府SA連協の活動方針について説明し就任2年目のご挨拶と致します。

府SA連協の平成30年度活動方針は『地区SAの活性化への貢献活動』です。

府SA連協は「地区SAが元気になるように作られた組織」と理解します。そのためには地区SAが活性化する方策は、①地区SAの情報を吸い上げること、②府SAが持っている情報と交換し合うことで、お互いの組織の相乗効果が期待されます。そのためには遠方から理事会に参加される地区SAの参加者に有意義であったと感じていただける理事会を目指したいと考えます。

「地区SAの活性化の為に府SAの行動計画」

- 1、理事会の予定時間2時間を1時間は地区SAの発表会か講演会に使い、残りの1時間は今までの通りの報告会とします。
- 2、ブロック会議で地区の悩みや問題点を共に話し合い解決策を見つけるよう努めます。
- 3、SA活動の宣伝の為に、行事の際には横断幕か幟を掲示する様努めます。（幟や横断幕の掲揚運動）
- 4、大阪府SAの最大の財産は「おもちゃクラブ」「歌体操クラブ」の認識の下活動の輪を広げ、新規貢献先の開拓に努めます。
- 5、地区SAの活動の源泉である委託金取得が大きな動機付けになります。委託金の情報や取得についての相談に応じる様努めます。

「関連組織との関係の深化」

- ① SA認定機関の大阪府福祉部高齢者介護室との月1回の報告など行い情報取得に努力する。又両者の関係強化することでSAを理解いただき、有効な助言を頂く様努力します。
- ② 高大と校友会の関係強化を図ります。高大3階の広報コーナーに受講生向けに、府SA連協専用のラックを設置し地区SAの広報チラシを置き、受講生の地区SAの認知度を高め新入会員の増加を図る様努めます。
- ③ ONCC（NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ）との関係を維持し、新規入会者の増員を図る様努めます。
ONCCには交流授業等をこちらから企画提案をして実現したい。
- ④ 歌体操フェスタ、ブロック交流会等、各地区SAに魅力ある活動を模索し具体化する様努めます。
- ⑤ 他の組織と共催イベントを模索し、具体化し定例化する様努め、委託金事業の増加に努力します。例：ATCおもちゃフェスタ他）

各地区SAの皆様へ

地区SAの皆様には於かれては、会員の高齢化が

進む中で、新入会員の加入が叫ばれている現状を打破するには、地区 SA の魅力ある活動が肝要です。各地区 SA の理事さんを通じて、府 S

A 連協へ具体的な提案をお願いします。他の地区 SA も其の成功例を参考にして、具体化して魅力ある地区 SA を作る努力をしましょう。

◆◆平成 29 年度活動報告◆◆

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

◇事 務 局 (部門理事 3 名) ◇

木場 昭和子 (SA 大阪市 平成 18 年)

1 運営全般

SA 連協会員数の推移は 3 月末現在では未集計のため確定せず、正式には 5 月初頭判明予定各地区 SA の実情は相変わらずの新規入会者不足と会員の高齢化に苦慮している状況です。平成 29 年度活動方針の結果について以下に報告します。

① 「地区 SA の活性化への貢献」について

- ・理事会では各部会の報告主体から、各地区との情報交換にシフトするように努めた。しかしながら、歌体操やおもちゃの地区での交流会でつぶさに現地に出向き情報交換はできたように思われた。
- ・各地区 SA における新会員勧誘事例紹介。
- ・地区 SA の新会員の居場所つくりのため、理事長挨拶を利用して資料の紹介等を行った。

② 行政機関との関係強化について

- ・大阪府高齢介護室 介護支援課との会合を実施し、今後定例会合をする道ができた。SA の所管部署である同課との会合が引き続き重要である。
- ・同課との会合により 6 地区 SA (大阪市、守口市、和泉市、高槻市) を府知事が『ニッセイ財団の生き生きシニア活動顕彰』に抽選の結果申請してくれた。

③ 新規取組案件としての SA 連協全地区 SA が参加しての催しについては、予算の厳しい折、東大阪 SA 立上げのため 3 月 25 日におもちゃフェスタを実施した。

新しく参加した新会員とおもちゃを通じて交流できたのではと考えます。

④ 関連団体との交流は各部会に詳述しているので省略。

その他特記事項

⑤ SA 東大阪が再度立ち上げ計画中、約 10 名の新会員の候補者があり、現在準備中です。

- ① 岸和田市で地区 SA を立ちあげの件は、推進者とコンタクトを継続し、様子を見て次年度への申し送り事項としたい



2 会務運営

1) 会議の開催状況

- ① 理事会；毎月一回（原則 第一木曜日）開催した。会場は、原則 大阪福祉指導センターを使用した。申込の抽選負けとなり、大淀コミュニティセンターを使用することもあった。理事会では、外部団体、3 部門会およびブロック交流会からの報告他外部講師含む講演会があった、交通費の支給の件その他審議案件があったのは、次の通りであった。

- 4 月 第 1 号議案 平成 28 年度活動報告
第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告並びに監査報告に承認を求める件
第 3 号議案 平成 29 年度役員選任の件
5 月 第 1 号議案 平成 29 年度活動計画(案)承認の件
第 2 号議案 平成 29 年度会計収支予算(案)承認の件

- ②その他としては以下の通りであった。

- 5 月 大阪府高齢者介護室の紹介 植澤副主査
6 月 講演会 {がんと闘った体験談} 栗山講師
新旧理事懇親会 6/1 於：さとうすし半
7 月 地区 SA 会員動向表報告について
講演会 {ともに支えあう地域社会を目指して} 寝屋川愛の会 三和講師
8 月 講演会 {堺 SA の活動報告} 堺 SA 三浦講師
9 月 講演会 {老老介護時代に生きる} 大阪市 SA 北野講師
10 月 講演会 {2025 年の問題と有償ボランティア及び私の海外ボランティア} SA 藤井寺会長
大川講師
11 月 ニッセイ財団「生き生きシニア活動顕彰」について…4 団体選出
11 月 講演会 {全労災の取り扱い損害保険} 全労済 大阪推進本部 事業推進 3 課 課長中丸講師
12 月 講演会 {スライムの作成指導} SA ひらかた会長 鈴木講師
1 月 講演会 {フレイルについて} 健康管理士会 藤林講師
理事会新年会 1/11 サトすし半
2 月 講演会 {ボランティア活動について} 大阪市 SA 新鞍講師
3 月 講演会 {織染めの講習} SA ひらかた会長 鈴木講師

☆今後は

- ・各地区 SA の行事の発表や講演会を通じてお互いに学ぶようにする。
- ・講演会の機会を多くする。（地区 SA から講演の情報がほしい）
部門会とブロック交流会については部門会を偶数月に、ブロック交流会を奇数月に理事会に併せて開催した。

- ③ 役員会

役員会は、理事会の後に理事会で出された課題の整理と次月理事会への提案検討が主に議論された。

◆◆各部門会・部会の活動報告◆◆

◇渉外部（部門理事 6 名）◇

鈴木 紀男 （SA ひらかた 23 年）

平成 29 年版高齢社会白書では平成 28 年 10 月 1 日現在、65 歳以上の高齢者人口は 3,459 万人、高齢化率 27.3%になりました。少子化対策による向上も進まず、ますます高齢者人口は増大し、高齢者が高齢者を支える時代に入り、シルバーアドバイザー（以下 SA と呼ぶ）の役割が地域の担い手としての必要性が益々増えていきます。残念ながら地域も、各地区 SA 連協も後継者不足に直面し、後継者不足を補う対策が求められています。行政・諸団体との友好をより深め、SA の周知とボランティア会員の増員対策は残念ですが低調に推移いたしました。力不足をお詫び申し上げます。

(1). 主な渉外事項

- ① 29.8/27 高大夏の音楽祭
- ② 29.10/11 高大スポーツ交流大会参加
- ③ 29.10/17 SA 認定授与式
- ④ 29.11/8 高大祭
- ⑤ 29.11/26 大阪マラソン
- ⑥ 30.2/8 アクティブシニアフェスタ
- ⑦ 30.3/24 高大冬の音楽祭

◇部会の報告◇

1 都市環境部会 和佐義頭（SA いけだ 19 年）

*活動目的にある、住んでいる地域の環境に目をやり、安心・安全なまちづくりに寄与するということに、果たして…？どうでしょうか？ 出来ることに限界を感じつつ 8 年経過しました。今後の課題です。

<活動実績>

1、都市整備部と意見交換会 5/30

2、<見学会>

① 6/3 「亀の瀬地すべり」 18 名参加

②10/24 「大阪府広域防災拠点・南部防災備蓄倉庫」 10 名

3、キッズ ファーム プロジェクト 5/27～ 5 回開催



2 福祉 IT 部会（部会員 7 名＋サポーター） 榎本 龍彌（SA いけだ 21 年）

IT 技術の利活用により、授産施設（障がい者のための福祉事業所）で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う

そのために、サイト「福祉夢ひろば」(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>) を運営する。

① 例会／研修会

- ・定例会： 8 回開催。 原則として毎月第 4 月曜日 午後 1 時 30 分～

大阪市立総合生涯学習センター ネットワーク・ラボ

- ・福祉ボランティアの実践に関する相互研鑽とイベントへの参加準備を行った。

② 福祉夢ひろばに掲載する授産施設の更新と新規授産施設の開拓

- ・平成 29 年度は新規授産施設の開拓はなく、2018 年 3 月時点で授産施設 27 施設と授産ショップ 4 店をサイト「福祉夢ひろば」に掲載している。

③ イベント時に授産製品の展示・即売会を無償で実施し、併せて障がい者の社会参加の推進を図った。

- ・トラックフェスタ 2017 (2017. 10. 22 大浜公園（堺市）で開催)

授産施設 3 カ所が製品を展示・販売し、さらに 1 施設の授産製品を出展／販売代行する予定であったが、当日台風のため出店を中止した。

- ・第 40 回障がい者作品展 (2017. 11. 18&19 ビッグ・アイ（堺市）で開催)

出店希望施設がないため、参加を断念した。

- ・総合フェスタ 2017 (2017. 11. 23 総合生涯学習センター（大阪市）で開催)

授産施設 4 カ所が製品を展示・販売、ならびに 1 施設がモノ作り体験教室を実施した。さらに、3 施設の授産製品を出展／販売代行した。売上高 約 63,000 円

④ 広報活動

- ・会員の活動を相互に知らせあい、かつ外部にも発信すべく、福祉 IT 部会のブログ

(<http://fukushi2yume.blog120.fc2.com>) を運営しているが、記事の更新はできなかった。

- ・当部会の活動を紹介するパンフレットを更新し、2018 年 1 月末情報で発行した。

- ・ネットワーク・ラボ主催のネットワーク・サロンで「みんなで歌おう！」の企画を 2017. 10. 8 に実施した。大型スクリーンに歌詞を投影し、それを見ながら、ピアノの生伴奏に合わせて参加者全員でナツメロ、抒情歌、童謡などを歌い、大いに盛り上がった。参加者 80 名。



あべの作業所



アルパカ工房



パクのパン屋さん

◇交流活動部（部門理事 11 名）◇

中島 英征 （SA 茨木平成 19 年）

交流活動部は、歌体操部会・おもちゃ部会・支援活動部会の 3 部会構成で運営している。
それぞれの部会で、勉強会、研修会を開催することで、技術の向上を図ることが出来た。
又大阪府 S A 連協の年間スケジュールを作成し理事各位に配布し部会、イベント等解りやすくした。
部会ごとに理事会にて活動報告を行なった。

◇部会の報告◇

1 歌体操部会 （部会員 2 0 名）藤川 安高（SA 吹田 21 年）

・歌体操部会活動報告

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上と親睦図り、更に中央研修会とも連携して活性化を図った。

①部会は毎月 1 回 年 12 回 第 4 月曜日 午前 10 時～12 時

前半会議と後半実技の研修行った。

②地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年 1 回実施した。

- ・北ブロック 高槻現代劇場集会室
- ・中ブロック 四条畷市市民活動センター体育館
- ・南ブロック 松原市市民道夢館第二武道場

③その集大成として大阪府下の歌体操仲間と「S A 連協歌体操フェス 2018」を 3 月に実施した。

大阪市東成区区民センター 2 階大ホール

④部会活動の運営費を負担するため一部を有料化した。

⑤「S A 連協歌体操フェス 2018」の協賛広告費を会場費の 1 部に充当した。

⑥アクティブシニアフェスタの演芸部門に部会として参加した。

※今後の課題

歌体操を理解して頂き、地区理事・役員の協力を得て全地区に広めたい。

歌体操部会活動(いずれも月曜日)

定 例 部 会					
回数	月 日	時 間	場 所	出席人数	内 容
第1回	平成29 年 4月24 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	21 名	自己紹介、活動計画・部会長・ 副部会長選出・地区別 交流会 決める アンケート
第2回	5 月 22 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	19 名	中ブロック当番の実技研修

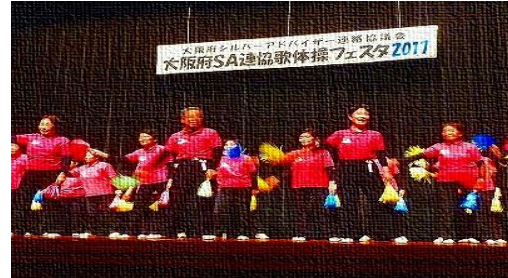
第3回	6 月 26 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	20 名	北ブロック当番の実技研修
第4回	7 月 24 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	18 名	南ブロック当番の実技研修
第5回	8 月 28 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	17 名	中ブロック当番の実技研修
第6回	9 月 25 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	18 名	北ブロック当番の実技研修
第7回	10 月 23 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第4研修室	19 名	南ブロック当番の実技研修
第8回	11 月 27 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	18 名	中ブロック当番の実技研修
第9回	12 月 11 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第 5 研修室	19 名	北ブロック当番の実技研修
第10 回	平成30年 1 月 22 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	21 名	フェスタ2018の役員選考と準備
第11 回	2 月 26 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	20 名	フェスタ 2018 の役員の役割再確認
第12 回	3 月 26 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	20 名	一年の反省 来期への改善点

各ブロック地区歌体操研修交流会

2017/9/6 水	13:45～ 16:00	松原市民道夢館 第 2 武道場	110 名	南ブロック研修交流会
2017/9/27 水	13:00～ 16:00	四条畷市市民活動 センター体育館	110 名	中ブロック研修交流会
2017/11/8 水	13:00～ 16:00	高槻市現代劇場 集会室	178 名	北ブロック研修交流会

府 SA 連協歌体操フェスタ

第6回	平成 30 年 3 月 23 日(金)	11:00～ 16:20	大阪市東成区市区 民センター	413 名	歌体操フェステ2018
-----	------------------------	-----------------	-------------------	-------	-------------



大阪府 SA 連協歌体操フェスタ 2018・中ブロック担当・会場：東成区市区民センター



・北ブロック交流会

・中ブロック交流会

・南ブロック交流会

2 おもちゃ部会（部会員 25 名） 島田 道子（SA 守口 14 年）

- ・部活動は会を重ねる度に活発化している。
- ・部会員も増えてきている、その紹介での見学者は受け入れる。
- ・ブロック別の おもちゃ交流会も各ブロック 特色ある研修会になっている。
- ・ブロックごとに講師は 新講師自身の自信にもつながっている、
- ・最近積極的に 講師を引き受けている感じがしている。

I ; 会場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階

II ; 開催 おもちゃ部会 偶数月 第 2 火曜日 1 : 30 ~ 3 : 30
部会員は SA 入会者 その紹介での見学者は受け入れる。

III ; 書記、会計を各ブロック代表で決定
書記 北ブロック長 三橋与作（SA 高槻）

会計 中ブロック長 中西弘子 (SA大阪)

南ブロック長 松島登志子 (SA堺)

IV ; 講師 ブロック (南 中 北) ごとに講師

V ; 会費 1 回 200 円 徴収

定 例 部 会				
	月 日	作 品	講 師	参加人数
1	6 月 13 日	オリジナルペン立て	SA八尾柏原 井上勝	16
2	8 月 8 日	イルカの玉乗り、纏	SA大阪 中西 弘子	14
3	10 月 10 日	バルーン	SA八尾柏原 井上勝	18
4	12 月 5 日	ネックレス	SAはびきの 池内日出子	18
5	2 月 13 日	くねくねへび	SA河内長野 小柴好子	12
6	4 月 10 日	ストラップ	SA豊中 西本 節子	15

★ブロック別おもちゃ交流 研修

- ・南ブロック 9 月 30 日 河内長野市立千代田公民館
- ・中ブロック 11 月 3 日 寝屋川公園まつりに参加
- ・北ブロック 10 月 27 日 箕面市サンプラザ

(参考)

・おもちゃ教室 奇数月 第3火曜日 1 : 30 ~ 3 : 30

・会場 大阪社会福祉指導センター 地下1階

※ 教室はどなたでも興味のある方参加自由です！



おもちゃ部会



イルカの玉乗り



ストラップ

3 支援活動部会 (部会員 3 3 名) 木場 昭和子 (SA 大阪市 18 年)

当部会は、歌体操を継続させ、更には発展させて行くために必要な次期リーダーの育成と、高齢者施設への歌体操ボランティア活動のスキルアップに取り組んできた。現在では、新規高齢者施設へのボランティア活動も増えている。

毎月 1 回第 2 木曜日 (1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0) に大阪市生涯学習センターの研修室で開催される中央研修会では、3 ヶ月に 1 回位外部講師の指導を受けている。それを支援活動部の専任講師がフォローアップをして、地区の講師に繋げている。新しい曲を覚え、地区研修会でその指導に当たり、ブロック交流会・歌体操フェスタ等で発表できるのも、楽しみの 1 つであろう。

現在中央研修会には地区で推薦を受けた 2 9 名 + 役員が参加している。

会場費は、皆さんから毎月 5 0 0 円を支払っていただいている、協力金を当てることとする。

平成 2 9 年度はどうか、これで運営はできたが、平成 3 0 年度は助成金を獲得できていない。

ため、中央研修会を開催する場合、協力金で会場費は支払いが出来るので、続けていきたいと思っているが、専任講師、副専任講師の、講師料をどうするか工夫が必要だと感じている。



坐位での体操



下肢の体操



外部講師にの体操

4 歌体操カーリンコンクラブ (同好会) 木場 昭和子 (SA 大阪市 18 年)

カーリンコン同好会を立ち上げて、中央研修会終了後、1 時間位練習をしている。現在会員は 1 5 名。

この 1 年間で、8 名が研修会に参加して、インストラクターの資格をとり、合計 1 3 名が資格を持っている。現在、毎月第 1 火曜日に高齢者施設でボランティアを実施している

今後もボランティアに行ける施設を増やしていきたい。

大阪府カーリンコン大会等にも、年 2 回 ~ 3 回くらい参加をしている。

☆今後の課題

- ・ボランティアの活性化を図るためには、各地区 SA で助成金を獲得し、補助が出来る様になると、色々なボランティアに取り組みやすくなると思いますので、各地区での申請を広めて行きたい

◇広報部門（部門理事 5 名）◇

松本 勉 （SA 茨木 19 年）

【活動目的】

- ・府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
- ・地区 SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
- ・広域活動、助成金情報のホームページ、ブログなどによる共有化を図る。

【活動報告】

1. 広報誌「シルバー通信」を 7 月に発行した。28 年度活動報告、29 活動計画を掲載して年次報告を行った。全労済殿のスポンサー協力を頂いて、32 ページ全カラー版の美装な誌面で発行できた。
2. 連協パンフレットを 1000 部改訂発行した。また、7 段ラックを購入し、地区 SA のパンフレットと併せて NP0 高大に常設して受講生への PR 活動を行った。
これを機会に、地区 SA にも PR パンフレットの作成・更新を呼びかけ、29 年度内に全地区出揃った。
3. 前部会長の急逝によるブログ研究会存続の危機も、部会員の継続の熱意と SA 会員のご厚意とご協力の下で、新たな部会員加入もあり活動を継続し、地区 SA の日常の諸活動報告が掲載した。
4. ホームページについては更新を新たに委託することにして、29 年度役員体制、シルバー通信、連協・地区 SA のパンフレット記載等を更新した。また、継ぎ貼り状態だったレイアウトもリニューアルして、見映えのいいものにした。
しかしながら、自営の地区（吹田）を除いた「地区 SA の概要」（ホームページ）の更新については、準備と予算的対応が不十分のために次年度の課題として残したことは残念である。
5. 関連団体・協力団体のイベント行事に参加して、パネル展示による PR 活動を行った。
・コーダイ祭、・ONCC ふれあい交流祭、・アクティブシニアフェスタ
6. 認定 NP0 法人大阪府高齢者大学校機関誌「れいんぼー」に寄稿協力し、受講生に対し PR 活動を行った。

◇部会の報告◇

1 広報誌部会 （部会員 5 人）松本 勉（SA 茨木 19 年）

【活動目的】

- ・文書情報での対外、対内への情報発信（情報誌・PR チラシ等）
- ・SA ファンづくり・地区 SA の活性化（情報誌・PR チラシ等）

【活動報告】

1. 大阪府 SA 連協広報誌「シルバー通信」の発行。
 - ・年 1 回の発行とし、会員全員に配布されるこの機関誌を通じ、前年度の活動報告と新年度の活動を知ってもらうよう年次総会資料と同等内容のものを、新体制が固まった 6 月に原稿を収集し、7 月に発行した。

- ・理事長の尽力により全労済殿に発行スポンサー協力を頂いて、カラー印刷の見やすい紙面の提供ができた。
- 2. 連協パンフレットを 1,000 部発行した。また、地区 SA にも PR パンフレットの作成・更
を呼びかけ、20 全地区のパンフレットが出揃った。NP0 高大に申請の上 7 段ラックを購入し
これを機会に、地区 SA のパンフレットと併せて NP0 コーダイに常設して受講生への PR 活動
を行った。
- 3. 外部関連団体イベントに参加して、パネル展示にて PR 活動を行った。
 - ・「コーダイ祭」 11 月 08 日 大阪市中央公会堂
 - ・「ONCC ふれあい交流会」 11 月 15 日 豊中市文化芸術センター
 - ・「アクティブシニアフェスタ」 2 月 18 日 大阪市中央会館
- 4. 認定 NP0 法人高大機関紙「れいんぼー」に、府 SA 連協より寄稿し、受講生への PR 活動を行
った。
 - ・れいんぼー 37 号(4 月発行) 理事長入学祝辞、
 - ・れいんぼー 39 号(1 月発行) 理事長年頭挨拶、20 地区 SA の概要



地区 PR チラシ



広報コーナー



募集活動

2 ブログ研究部会 (部会員 8 名) 松本 勉 (SA 茨木 19 年)

【活動目的】

ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見
やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動報告】

1. ブログ教室の開催

前年度に引き続き今年度も、大阪市 SA の会員さんの厚意で無料にて会場の提供を受ける。
また、部会長(兼講師)の急逝により閉会(休会)の危機もあったが、全会員の熱意で継続を
決定し、新たに専任講師(大阪市 SA 会員)を迎えて 6 月 13 日 第 1 回新ブログ教室をスター
トした。

- ・毎月第 2 火曜日 午前 10 時～午後 3 時
- ・大阪市中央区本町橋 7-18 名阪第 2 ビル 3 階 305 号室

2. 府連協ブログ欄の設定

2 月に地区 SA の活動ブログ枠に府連協のボタンを設定したが、ブログ部会内の利用に留まっ
ている。今後は、連協行事等の記載にも活用を拡げていきたい。

【今後の課題】

ブログを使った活動紹介は、各地区 SA の部会員努力によって提供することができた。

しかし、全地区では更新が停滞している地区も多く、停滞地区ゼロを目指す態勢が、今後の大きな課題である。

- | | |
|------------------------|--------|
| ・ 2 9 年度に更新した地区 : | 1 1 地区 |
| ・ 2 8 年度までは更新していた地区 : | 2 地区 |
| ・ 過去 3 年以前には更新していた地区 : | 5 地区 |
| ・ 一度もブログを記載したことがない地区 : | 2 地区 |



ブログ研究部会

3 ホームページ管理部会 (理事長、広報部長)

【活動目的】

- ・ 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。
- ・ ホームページの刷新を図る。

【活動報告】

1. 更新作業の外部委託

ホームページの更新担当者の急逝により新たに外部委託することにして、更新情報の発生都度単発で、「29 年度役員体制」、「シルバー通信 29 年度版」、「連協・地区 SA のパンフレットの更新登録」等を更新した。

2. ページレイアウトのリニューアル

また、歴代の更新担当者の思い思いの対応による継ぎ貼り状態だったページレイアウトも整備して、見映えのいいものにリニューアルした。

【今後の課題】

1. 年間経常委託化

複雑に絡みながら構築された当会ホームページの構造を、単発作業の下で習得することは、困難であることが分かった。一方、日々の SA 活動の状況をタイムリーに発信することは、外部の皆さんの SA の認知度と信頼性の向上には重要な要素の一つでもある。

このことから、ホームページの更新には年間経常委託化が急がれる。

2. 地区の概要 (HP) の更新

地区 SA のホームページ更新については、自営の SA 吹田、SA 寝屋川を除く 1 8 地区の更新が未着手に終わった。各地区 SA の総会にて承認された 3 0 年度計画を反映したものを順次に、前述の経常委託化とともに進めていきたい。

平成 29 年度収支報告並びに監査報告

平成 29 年度大阪府 SA 連協会計決算

期間(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入の部				
科目	28年実績	29年予算	29年実績	備考
前年度繰越	86,184	196,370	196,370	
会費	181,200	182,000	170,200	200円×851人
利息	16	20	2	
寄付・雑収	8,800	0	42,400	大和リース、ポーラ
ATCおもちゃイベント	150,000	0	200,000	
広報誌広告収入	49,500	0	49,136	
収入合計	475,700	378,390	658,108	
支出の部				
活動費	30,000	50,000	44,000	理事・役員交通費
負担金	18,080	20,000	18,000	
事務費	34,984	40,000	81,299	会場費、コピー代他
歌体操	15,000	30,000	30,000	
おもちゃ	15,000	15,000	15,000	
ブログ・ホームページ	1,651	30,000	29,500	
福祉IT	12,000	12,000	12,000	
シルバー通信	52,019	35,000	74,900	
PR資料他	10,946	10,000	18,189	ラック、PRチラシ他
おもちゃイベント経費	71,530	0	221,759	ATC、東大阪おもちゃフェスタ
30周年記念誌準備金	0	40,000	0	
予備費	18,120	20,000	38,818	講演会謝礼、横断幕他
支出合計	279,330	302,000	583,465	
繰越金	196,370	76,390	74,643	
合計	475,700	378,390	658,108	

新鞍清彦理事長殿

以上の通り今年度の会計決算を報告します。

平成30年4月5日

事務局長 木場昭和子 印

会計 下川順夫 印

**会計監査報告書**

上記、会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。

その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告します。

平成30年4月3日

会計監査 高林光睦 印

会計監査 中川明子 印



◆ 30 年度活動計画 ◆

◇平成 30 年度役員体制◇

理 事 長	新 鞍 清 彦	22 年 大阪市
副理事長兼渉外部長	鈴 木 紀 男	23 年 ひらかた
副理事長兼交流活動部長	今 井 正三郎	22 年 吹田
副理事長兼広報部長	大 川 正 彦	18 年 藤井寺
事務局長	木 場 昭和子	18 年 大阪市
会 計	下 川 順 夫	17 年 高槻
書 記	木 場 昭和子	18 年 大阪市
事務局次長	元 坂 道 幸	10 年 河内長野
〃	戸 田 喜美代	21 年 箕面・豊能
会計監査	中 川 明 子	17 年 いずみ
〃	高 林 光 睦	20 年 四条畷
福祉 IT 部会長	榎 本 龍 彌	21 年 いけだ
歌体操部会長	藤 川 安 高	19 年 吹田
おもちゃ部会長	島 田 道 子	14 年 守口
支援活動部会長	木 場 昭和子	18 年 大阪市
広報誌部会長	大 川 正 彦	18 年 藤井寺
ブログ研究部会長	松 本 勉	20 年 茨木



交流活動部



広報部



渉外部

◆◆ 30 年度活動方針 ◆◆

— 地区 SA の活性化への貢献活動 —

- (1) 各地区 SA の高齢化に対処するため、府 SA 連協としては地区 SA の活性化に寄与すべく一番重要な業務と位置づけます。特に、理事会開始前の時間を利用して各地区 SA の事例発表の場と講演会を約 50 分間持ち、地区 SA の情報交換の機会を増やし、地区 SA の行事事例の発表を参考にし、その発表事例を各地区 SA が良いところを採用して地区 SA の活性化に努める様にします。(特に南、中、北グループのおもちゃ交流会と歌体操交流会は学ぶ点が多いので多くの参加が必要と思います)
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る
高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジの SA 養成講座生の全生徒の 5% 入会を図るべく取り組む。新規会員を受け入れる場合の新規貢献活動先の開拓と整備に努め、その為に積極的に意見具申や情報交換をしていく。また府高齢介護室との関係を強化する。(各地区にできた府民カレッジとの交流を盛んにして、SA の会員の受け入れ素地を作ることが必要)
- (3) 新規会員増の取組について
府 SA 連協全 20 地区 SA の会員が少しでも増すため、新規地区 SA (東大阪地区) の立ち上げ補強する。
- (4) 貢献活動先の開拓 (幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販店舗等) 新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現する早道なので、お互いに情報交換に務める事。(新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の構築は重要です)
- (5) ニッセイ顕彰金制度について
今年も 6 地区が対象で実施される予定。ついてはその 50,000 円の資金を利用してイベントの計画を実施の事。
- (6) イベント等の委託事業 (広告も含む) について委託事業を積極的に取り込み実施することで、地区 SA 組織の活性化に努める。(今年は、特に提携を盛んにして組織の強化に努めること)

◆活 動 計 画◆

(1) 定例会

地区 SA 発表会及び講演会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00~13:50 開催
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00~15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 15:00~17:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 理事会日の奇数月の午前 10:30 開催
各部門会	年 6 回 理事会日の偶数月の午前 10:30 開催

◇渉外部◇

鈴木 紀男 (SA ひらかた 23 年)

【活動目的】

平成 29 年版高齢社会白書では平成 28 年 10 月 1 日現在、65 歳以上の高齢者人口 3459 万人、高齢化率 27.3%になりました。昨年白書から 67 万人の増加となっています。

7 年後はいやまだ 7 年ある、皆さんは如何お過ごしでしょうか。2025 年問題、団塊の世代が後期高齢者となります。高齢者人口は増大し高齢者が高齢者を支える時代です。

われわれは何が出来るか、一人一人の認識が必要と考えます。

シルバーアドバイザー（以下 SA と呼ぶ）の役割が地域の担い手として必要性が増大しますが、残念ながら各地区 SA も後継者不足に直面し、後継者不足を補う対策を講じてもその成果は表れていません。行政・諸団体との友好もありますが、他力本願に頼らず

SA 各組織団体が積極的に地域に根ざした対策を講じる必要が最善の策と考えます。

渉外部は対外折衝部として行政・諸団体との友好をより一層深め、各組織団体の支援を行えるよう努めます。

【活動計画】

行政・学校・姉妹団体に定期訪問をし、SA 養成講座 30 年の歴史と実績を周知し、理解を深めるためのアクションを起こします。

1. 行政機関

大阪府福祉部高齢介護室介護支援課地域支援グループ

大阪府社会福祉協議会・各市町村社会福祉協議会

2. 高齢者生涯学習機関

認定 NPO 法人大阪府高齢大学校・校友会（略称コーダイ・校友会）

NPO 法人大阪区民カレッジ（略称区民カレッジ）

NPO 法人大阪府民カレッジ（略称府民カレッジ）

NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ（略称 ONCC）

3. 姉妹団体

NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪（略称 SA・ネット大阪）

◇部会の計画◇

☆福祉 IT 部会 榎本 龍彌 (SA いけだ 21 年)

【活動目的】

IT 技術の利活用により、授産施設（障がい者のための福祉事業所）の認知度を高め、併せて授産施設で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う。

そのために、サイト「福祉夢ひろば」

(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>) を運営する。

【活動計画】**① 掲載授産施設／ショップの拡充と掲載ページの充実**

- ・掲載を希望する施設／ショップのページを作成し必要なリンクを設定し公開する。
- ・サイトのホームページ並びに施設掲載ページの更新を行い掲載情報の鮮度を保つ。

② 部会員／サポーターの活動能力のレベルアップ

- ・大阪市立総合生涯学習センターのネットワーク・ラボで例会を原則月 1 回開催し、福祉ボランティアの実践と IT 技術に関する相互研鑽を行う。

③ 各種イベントで授産製品の展示・販売を企画・実施

- ・大阪府内で開催される各種イベントに参加し「福祉夢ひろば」のサイトに掲載している授産施設の製品を展示・販売する。授産施設の出店を呼びかける。
- ・上記展示・販売に授産施設の利用者（障がい者）の方々の参加を呼びかけ、障がい者の社会参加の推進を図る。

④ 外部関係機関との連携と広報活動

- ・大阪市立総合生涯学習センター及びネットワーク・ラボ加入団体との連携を図るとともに、ラボ主催の大阪市民向け講座（ネットワークサロン）で「簡単にできるブログ」を開催（7 月 28 日予定）する。
- ・「福祉夢ひろば」のパンフレットを定期的に更新する。
- ・各種のイベント授産商品の展示・販売と併せて「福祉夢ひろば」の活動を紹介する。

【活動予算】（申請額）

- ・ 12,000 円 （平成 28 年度と同様、ネットワーク・ラボの会議室年間使用料 18,600 円の内、6,600 円は部会の自己負担とする）

☆都市環境部会**—「都市環境部会」（エコップ部会）の解散に当たって—**

和佐 義顕（SA いけだ 19 年）

SA 講座の専攻科目修了生の SA 連協における修了後の活動の受け皿として、部会の設立を大阪府福祉部介護支援課（主幹の辻野さん他）から何度も要請され、H22 年(2010)3 月立案、5 月理事会で承認、発足しました。

「地域の環境に目をやり、住みよい地域、幸せな地域づくりに啓発活動を通じて貢献する」という目的で、行政（当コースの主管部署、大阪府都市整備部や土木事務所地域支援課）と不定期の会合で情報交換を行い、環境関連施設の紹介、訪問、出前講座の要請、イベント（服部緑地）への支援等広く各地区 SA にも働きかけ、ここにちまで 8 年経過しました。部会員の固定化、高齢化等もあり、部会の目的も幾分果たせたと思い、この 3 月をもって解散いたしました。これまでの部会員各位に対してのご支援等ありがとうございました。

◇交流活動部◇

今井 正三郎 (SA 吹田 22 年)

【活動目的】

交流活動部の組織力の強化を図るため、各地区 SA 相互の交流を活性化させる。

【活動計画】

1. 歌体操部会、おもちゃ部会、支援活動部会の勉強会、研修会を実施し、技術の向上を図る。
 - ・歌体操部会は、毎月 1 回(第 4 月曜日)に開催する。
 - ・おもちゃ部会は、偶数月 (第 2 火曜日)に 1 回開催する。
 - ・おもちゃ教室は、奇数月 (第 3 火曜日)に 1 回開催に参加する。
 - ・支援活動部会は(時期リーダー育成のため)毎月 1 回(第 2 木曜日)に中央研修会を開催する。
2. 歌体操部会、おもちゃ部会の(北、中、南)ブロック交流会を年 1 回開催する。
 - ・歌体操, おもちゃブロック交流会 北、中、南は、各担当地区を持ち回りで実施する。
3. 全体の歌体操イベントとして「大阪府 SA 連協歌体操フェスタ 2019」を 3 月頃開催予定。大阪府内全域から、出演者を募集する。
4. SA 連協歌体操カーリンコンクラブのボランティア活動を開催する。

【SA 連協の財政改善に寄与する】

- ・部会活動の一部を有料化する。
(おもちゃ部会費 1 回 200 円、歌体操 300 円、中央研修会 1 回 500 円)

◇部会の計画◇

☆ 歌体操部会 藤川 安高 (SA 吹田 19 年)

【活動目的】

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上、普及、親睦を図っていき、更に中央研修会とも連携して活性化を図る。

【活動計画】

1. 部会は毎月 1 回 年 12 回 第 4 月曜日 午前 10 時～12 時
前半会議と後半実技の研修を行う。
2. 地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年 1 回は実施する。
3. その集大成として大阪府下の歌体操仲間と「SA 連協歌体操フェス 2019」を 3 月に実施する。
4. 部会活動の運営費を負担するため一部を有料化する。
5. 他の行事等に部会として積極的に参加する。

☆ おもちゃ部会 島田 道子 (SA 守口 14 年)

【活動目的】

各地区の活動の活発化、情報共有を図るとともに親睦を深めたい。

【活動計画】

従来通り隔月 1 回、部活動を実施する。

講師を新しい方をお願いする事によって、新講師の発掘及び講師の養成を図る。
部会員の活動の実践場所を広げ、イベントなどに部会として参加できるようにする。

おもちゃ委員と同時に SA 会員なら一人でも多く参加していただくようにする。

おもちゃ教室とも交流活動を活発化したい。

I, 会場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階

II, 開催 おもちゃ部会 偶数月 第 2 火曜日 PM 1:30～3:30
(おもちゃ教室 奇数月 第 3 火曜日 PM 1:30～3:30)

III, 副部会長 書記 会計を各ブロック代表で決定

IV, 講師 ブロック (南 中 北) 毎に、講師をお願いする

V, 会費 昨年度と同様に 1 回 200 円 徴収

☆ 支援活動部会 木場 昭和子(SA 大阪市 18 年)

【活動目的】

・部会活動の活性化と、中央研修会、地区研修会を実施して高齢者施設へのボランティア活動の推進を図る。

【活動計画】

1. 部会活動を強化するため、助成金の獲得に努める。
2. 歌体操中央研修会を毎月 1 回開催して、地区研修会のできるリーダーを養成する。
 - 2-1 3 ヶ月に 1 回位、外部講師をお招きして、研修会を開催する。
外部講師の研修会をビデオ録画、DVD にして希望者に頒布する。
 - 2-2 高齢者施設ボランティア活動の実践。
 - ・高齢者ボランティア活動の新規開拓を図る。
 - ・質の高いボランティア活動を目指す。
3. おもちゃ部会員のボランティア活動の実践場所を確保する。
4. S A 連協歌体操カーリンコンクラブの練習場所を確保する。
高齢者施設でのボランティア活動を実施し、多方面へも拡大出来る様に努める

◇ 広 報 部 ◇

大川 正彦(SA 藤井寺 18 年)

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。

【活動計画】

1. 渉外部を通じて、高大内にパンフレットスタンドの常設を要望し、受講生向けの連協や地区 SA のパンフレットを配布する。
2. 広報誌「シルバー通信」の発行及び高大機関誌「れいんぼー」への寄稿協力をする。
3. ホームページブログ等のネットワーク情報を活用しタイムリーな広報活動を目指す。

◇ 部会の計画 ◇

☆ 広報誌部会 大川 正彦(SA 藤井寺 18 年)

【活動目的】

1. 情報誌・PR チラシ等の文書情報での情報発信
2. SA ファンづくり（情報誌・PR チラシ等）
3. 地区 SA の活性化、先進活動の共有化（情報誌・PR チラシ等）

【活動計画】

1. 府 SA 連協「シルバー通信」（前年度報告、当年度計画）を年 1 回発行する、7 月。
2. コーダイ機関誌「れいんぼー」に校友会員として寄稿する、年 2 回 1 月、3 月。
3. 府 SA 連協 PR チラシ発行、地区 SA のチラシ更新随時。
・コーダイ関連行事、・ONCC 関連行事、校友会関連行事等で募集活動に利用。

☆ ブログ研究部会 松本 勉(SA 茨木 19 年)

【活動目的】

1. ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

1. 地区ブログ要員の拡大・普及とスキル習得のため、熟練講師に依頼してブログ研究会のスキル向上強化を図る。・部会費 1 回 500 円
2. 部会員の親睦と日常の課題の共有化を図るため、研修会後の親睦会を定着化する。
3. ホームページの紹介、SA 会員のグループや個人のブログ。

☆ ホームページ管理部会 理事長・広報部長

【活動目的】

1. 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。

【活動計画】

1. ホームページ更新の ID やパスワード等の管理は複数人で保管するものとし、管理者については、理事長及び部門長と部門長に委託を受けた者とする。
2. ホームページの更新は経常的に発生するものなので、年間有料委託とする。
複雑に絡みながら構築された当会ホームページの構造を、単発作業の下で受託者が習得することは、困難であることが前年度に分かった。
3. 地区 SA の依頼原稿に基づいて、地区 SA のホームページを更新する。
4. 理事会、部会議事録等の文書はホームページ上での公開をやめて、広報部門長の責において保管・管理を行う。

◇平成 30 年度各地区理事◇

NO	地区名	氏 名	役職	入会年
1	大阪市 SA	新鞍 清彦	理事長	22 年
	〃	梶山 良子		14 年
	〃	木場 昭和子	事務局長兼書記	18 年
2	SA とよなか	松尾 博子		21 年
3	SA 池田	和佐 義顕		19 年
4	SA 箕面・豊能	戸田 喜美代	事務局次長	21 年
5	SA 吹田	今井 正三郎	交流活動部長	22 年
	〃	藤川 安高	歌体操部会長	19 年
6	SA 茨木	中島 英征		19 年
	〃	松本 勉	ブログ部会長	20 年
7	SA 高槻	下川 順夫	会計	17 年
8	SA 守口	島田道子	おもちゃ部会長	14 年
9	SA 寝屋川連絡会	森田 展生		7 年
10	SA ひらかた	鈴木 紀男	渉外部長	23 年
11	SA 交野連絡会	田中 暁子		12 年
12	SA 四条畷	佐木 晃		27 年
13	SA 大東の会	池田 順二郎		20 年
14	SA 八尾・柏原	二葉 登代子		15 年
15	SA はびきの	松田 嘉威		19 年
16	SA 藤井寺	大川 正彦	広報部長	18 年
17	SA 河内長野	元坂 道幸	事務局次長	10 年
18	堺 SA 連協	上山 乃婦子		20 年
19	いずみ SA	中川 明子		17 年

大阪府シルバーアドバイザー連協理事会



平成 30 年度大阪府 SA 連協会計予算

期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

科目	29年実績	30 年予算	備考
収入の部			
前年度繰越	196,370	74,643	
会費	170,200	170,000	200 円×850 人
利息	2	2	
寄付・雑収	42,400	67,000	
ATC おもちゃイベント	200,000	150,000	
広報誌広告収入	49,136	30,000	
収入合計	658,108	491,645	
支出の部			
活動費	44,000	50,000	理事・役員交通費
負担金	18,000	8,000	SA ネット大阪、府社協 VC 登録代
事務費	81,299	40,000	会場費、コピー代他
歌体操	30,000	30,000	研修費
おもちゃ	15,000	15,000	研修費
ブログ・ホームページ	29,500	50,000	
福祉 IT	12,000	12,000	
シルバー通信	74,900	60,000	
PR 資料他	18,189	10,000	PR チラシ他
おもちゃイベント経費	221,759	110,000	
予備費	38,818	20,000	講演会謝礼・他
支出合計	583,465	405,000	
繰越金	74,643	86,645	
合計	658,108	491,645	

編集後記 6 月の大阪北部地震・西日本豪雨災害・命の危険のある猛暑・2 本の台風と未曾有の自然災害に見舞われた日本列島。我々高齢者にとっても体調崩す大変な夏になりました。当、広報誌スタッフも体調崩し発刊が遅れ申し訳ありませんでした。各部署とも世代交代が急がれる 2018 年となりそうです。2020 東京オリンピックも 2 年を切り体制が活気をおび、世界へのおもてなしが楽しみ。「意識が行動をつくり、行動が習慣を作り、習慣が人格を作り、人格が運命を作る」—W, ジェームズ— 大事にしたいフレーズの一つ・・・ M,O



ポーラのエステ

【人気コース】トライアルキャンペーン

① BA プレミアム

総合的な肌悩みに対応

プリズムホワイトニングケアコース

(他、ハリコースあります。)

通常一回価格

¥14,040 のところ只今初回の方に限り

➡ **¥9,180** 約 70 分

② APEX スペシャル

豊富な4つのメニューで、肌悩みに合わせたケア

ハリケアコース

(他、ブライトなど3コースあります。)

通常一回価格

¥10,800 のところ

➡ **¥5,940** 約 60 分

③ ベーシック

美肌を目指すための基本ケア

ベーシックケアコース

通常一回価格

¥8,640 のところ

➡ **¥3,780** 約 50 分

“リンクルショット”（薬用シワ美容液）で
話題のポーラショップで
エステ体験しませんか!?

入会金・年会費
無料

ポーラのエステは
専任制

無理なオススメは
しません。

完全予約の
回数制

■ エンドレスハート（四天王寺）06-6772-2762 ■

■ あびこ（喜連瓜破）06-4302-5025 ■

■ cake（天下茶屋）06-6651-7814 ■

■ Dimant（帝塚山）06-6609-1278 ■

■ 咲樹（蒲生四丁目）06-6930-1076 ■

■ 美 Bloom（野江）06-6930-0802 ■

■ MOMO（羽曳野）072-957-5060 ■

■ コスモ（北加賀屋）06-6686-5641 ■

■ 幸林（四天王寺夕陽が丘）06-6773-2683 ■

スタッフ募集中

未経験者の方、Wワークの方など歓迎します。※お仕事体験デー開催！